

街並み景観形成の配慮事項(案)がまとまりました！

2014年3月16日(日)に、平成25年度 第6回まちづくり協議会を開催し、17名の会員に出席いただきました。

当日は、協議会内で話し合いを進めてきた街並み景観形成の配慮事項の確認と、駅前広場デザインの進捗案について協議を行いました。

今後、街並み景観形成の配慮事項については今年度末の提言書提出に向けた最終とりまとめを行います。

また、駅前広場デザインについては今回の協議結果を基に協力をいただいている千葉大学の学生の皆様にご協力いただき、最終案の検討を進めていくことになります。



街並み景観形成の配慮事項(案)の確認

第4回協議会でのご意見を受けた事務局案(街並みの圧迫感の軽減等のため、建物だけでなく、物置等の工作物についても道路境界部から0.5m~1m程度離すことを追記)について、協議会の中で話し合いを行いました。

話し合いのまとめ

- ・ 配慮事項について、以下の修正を行うことで会員の皆さんの了承を戴きました。

→居住者のプライバシー確保の観点から「目線より低い」という記述を外す。

→制限よりも、目的やあるべき姿を強調した表現とする。

- ・ その他、50cm~1mなどの数値基準が一人歩きすると良くないので、今後、景観計画で制限を行う場合などは、内容を十分に検討してほしいという意見がありました。

<<街並みの圧迫感軽減のイメージ>>



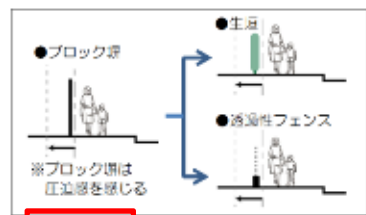
■道路境界部から一定程度の範囲については、建物・工作物(物置等)は設置しない。ただし、可動式のものの設置は可とする。



■建物を道路から離す事で圧迫感が軽減



■セットバックした空間において高い塀を設けない(市内事例)



■目線より低い生垣や透透性のフェンスとする事で圧迫感が軽減



今回で街並み景観形成の配慮事項についての協議が終了し、提言書として椎名市長に提出することになりました。



駅前広場のデザイン 進展案について

千葉大学工学部デザイン科学の植田憲教授のご指導の下、成東駅前広場空間デザインコンペに応募いただいた、学生の皆様による駅前広場デザインの進展がなされました。

進展に当たっては、前回の協議会で議論した「駅前広場の基本方針」に加え、「街並み景観形成の配慮事項（案）」で建物の圧迫感の軽減や賑わいの演出に取り組んでいくことから、駅を出て広がる街並みが映えるよう意識していただきました。



千葉大学の学生の皆さんが作成した模型デザイン(南側から駅舎方向を撮影)



※この模型は学生の皆さんが作成したものであり、駅前広場デザインの最終案ではありません。

協議会での意見の概要

千葉大学の学生の皆さんが作成した模型デザインを実現するための修正検討状況について、事務局から中間報告を行い、協議会内で話し合いを行いました。

①バスキャノピー

【中間報告】

- ・ 駅舎と身障者用乗降場・タクシー乗降場をつなぐ屋根機能の検討をすすめます。
- ・ 歩行者動線の確保のため、歩道部分の通行や、バス・タクシー乗降などの支障にならないよう検討中です。
- ・ キャノピーに人が登れないよう検討中です。
- ・ 圧迫感を感じにくい街並みを目指す観点から、一般乗降場のキャノピー設置は見送ります。
- ・ 部分的に杉材を使用したいと考えます。



歩道部分の通行や乗降時の人の流れのイメージ(赤矢印)

【意見の概要】

●安全面の配慮について

- ・ バス乗降位置などはあらかじめ決まっていると思うので、位置を気をつければデザイン重視で良いのではないだろうか。
- ・ 歩行者がキャノピーの傾斜部にぶつかる可能性があるので流れは駅舎建物側に設置した方が良いのではないだろうか。

●利用者への配慮について

- ・ 風よけのため、ガラス板（視線を遮らないため）などをベンチの裏に設置してはどうか。

●素材について

- ・ 部分的に鉄などを使うものの、最終的にできあがったときには木でできているような雰囲気にしたい。
- ・ 作田川の流れを表現するため、交通島側の軒先を湾曲させるなどの演出も可能と思われる。
- ・ 柱を金属の鏡面仕上げとしてもよいかもしれない。

協議会での意見の概要

②舗装材

【中間報告】

- ・ あららぎ館、市役所入口に設置しているスロープのウッドブロックは耐久面や費用面で課題があり、全面を木製ブロックで整備することは難しいと考えています。
- ・ 代替案として「アスファルト系」、「ブロック系」、「石材系」の舗装について検討中です。

【意見の概要】

●木製ブロックの部分使用について

- ・ 部分的に木製ブロック等を使う場合は、その他の舗装材と連続性が確保できるよう色調などに配慮してほしい。
- ・ 駅改札部分から木製ブロックなどを使用しているとよいのではないだろうか。
- ・ 点字ブロックに木製いかりを使用することができないだろうか。



③照明、④車止め、⑤ガードパイプ

【中間報告】

●照明

- ・ バスカルプーとのバランスを考え、適宜、光の色、位置等を検討したいと考えます。
（道路と歩道部分を広く照らす照明灯の設置が求められており、高さ10m程度の位置に数基設置することが一般的です。）
- ・ バスカルプーがアルミ製であれば照明を組み込むことが可能です。

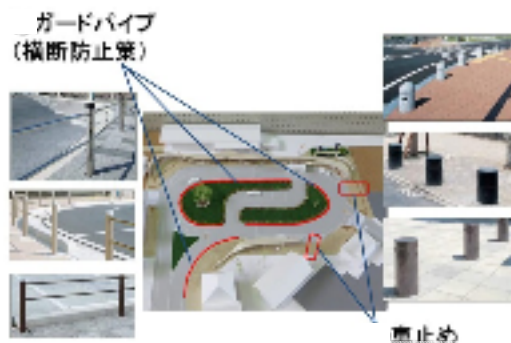
●車止め、ガードパイプ

- ・ 設計技術者からの助言を基に、車止め・ガードパイプ（横断防止柵）を検討中です。

【意見の概要】

●ガードパイプの材料について

- ・ 木製のものが使用できないか基準等を確認してほしい。



車止め、ガードパイプの設置位置とイメージ

⑥案内板

【中間報告】

- ・ 案内板は観光案内所前に設置したいと考えます。
- ・ 掲示面下に組子細工のデザインをあしらひ、掲示物がない場合にもデザインを楽しむことができるよう検討中です。
- ・ 掲示物のデザインを統一したいと考えます。

協議会内でのご意見はありませんでした。



案内板のイメージ



協議会での意見の概要

⑦ベンチ

【中間報告】

- ・市民オーナー制度による設置、維持管理、定期的な更新ができるよう検討を進めます。
- ・素材は杉の間伐材等の使用を考えています。
- ・場所は人の流れを考慮して、適宜設置したいと考えています。

⑧カウンター

【中間報告】

- ・歩行者動線に配慮して、観光案内所横と現緑地広場横に1箇所ずつ設置したいと考えます。
- ・バスヤルプ-との一体性については、歩道部分の通行に支障にならないよう検討中です。

⑨樹木

【中間報告】

- ・歩道内の樹木はカヤ-部のみに留め、他は交通島内にツボ-ルツリ-の設置を検討しています。
- ・樹種については引き続き事務局内で検討したいと考えます。

⑩交通島

【中間報告】

- ・「街並み景観形成の配慮事項（案）」で建物の圧迫感の軽減や賑わいの演出に取り組んでいくことから、低木、花と緑をしつらえたツボ-ルな交通島とし、駅を出て広がる街並み空間を演出したいと考えます。

協議会内でのご意見はありませんでした。

今回の意見を受け、4月以降も引き続き協議会で駅前広場デザインの検討を進めることになりました。

椎名市長からコメントを戴きました

景観は、住んでいる方々の協力により共有の財産、公共の財産として捉え、地域の価値を上げていくという考え方もあり、住んでいる方々のバウ-感覚が大事だと感じます。ホッとするバウ-の空間をご提案いただければありがたいと思いました。



駅前広場デザインについても、全体のデザイン性をご提案いただき、その中できちんとしたものを整備していくときっといいものができると思っています。

皆様のご検討は、将来に繋がる非常に創造的で夢のあるお話だと思いますので、ぜひとも最後まで頑張ってください最高のご提案をいただきたいと思います。ありがとうございました。

中谷C/Dからコメントを戴きました

昨年度の協議会の議論を通じて「ホッとさんむ」というまちづくりのテーマを設定しました。これは、ある意味では気持ち、心というか、駅前周辺をどうしようかという覚悟を決めたわけです。



今年度はそれを言葉で表し「街並み景観形成の配慮事項」について協議会で最終的な修正案をご了承いただきました。これについては後日、最終調整を行い市長に提言書としてお渡しすることになっています。

心の覚悟を決め、言葉に直した。これからそれが形になります。そういう意味では言いっぱなしではすみません。今後ぜひ皆さんと一緒にまちづくり、駅前広場づくりに取り組んでいきたいと思っています。

※C/D:コミュニケーション・ディレクターの略

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。

なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースでご紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課

成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局

〒289-1392 山武市殿台296

ファクス: 0475-82-2107

電子メール: toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。

